

# 競技注意事項

この大会は、2020年日本陸上競技連盟規則と競技者注意事項により実施する。  
但し、競技規則第162条5(C)は、本大会では適用せず、注意を与えるものとする。

## 1. 招集について

- (1) 点呼は、招集所において、用紙に自分で○を付け、出場の意思表示を行う。  
点呼の完了時刻には招集所に集合し、**最終点呼（トラック競技は競技開始15分前、フィールド競技は競技開始20分前）**を受ける。密集を避けるため、通常の集合形式の最終点呼は実施しない。  
招集終了時間にトラック競技は、100mスタート後方、フィールド競技はスタンドの所定場所に集合すること。最終点呼に遅れた場合は、競技の参加することができないので注意すること。
- (2) 選手の招集所から競技場所へ移動する際は、係員の指示に従うこと。
- (3) マスクはトラック選手ではスタート準備まで、フィールド選手は試技開始前（待機中含む）まで着用すること。（マスクを入れるビニール袋は各自用意すること）
- (4) リレーのオーダー用紙は各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに本部、情報記録員に提出すること。
- (5) トラック競技においては、スタート前に腰ナンバーを右腰につけること。  
シャツを出して腰ナンバーが隠れることのないよう注意すること。  
リレー競技においては第4走者のみでよい。

## 2. レーン・試技順

- (1) トラック種目予選におけるレーン順、及びフィールドの試技順はプログラム記載通りとする。
- (2) 決勝のレーン順は番組編成で公平に決定する。

## 3. トラック競技

- (1) 写真判定装置を使用するので、腰ナンバーを必ずつける。
- (2) 男女ともに800mはセパレートで行う。2レーンと7レーンに2人ずつ入る。
- (3) 男子1500mについては2組タイムレースとする。

## 4. フィールド競技

走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

男子（練習 1m15） 1m20～1m50まで5cmずつ 1m50から3cmずつ  
女子（練習 1m05） 1m10～1m35まで5cmずつ 1m35から3cmずつ

## 5. 競技について

- (1) その競技に参加の選手以外は一切競技場内に入ることはできない。
- (2) 短距離走ではゴール後安全確保のためゴール通過後も自分のレーンに沿って走り前後左右の安全を確認してからレーンをでること。
- (3) リレー競技のマークは1カ所とする。前走者は自分のレーンのマークを確実に撤去すること。

## 6. 競技用具について

競技に使用する用器具は、棒高跳びのポール以外全て主催者が用意したものを使用すること。

## 7. 練習について

- (1) ウォーミングアップはバックストレート側トラックを、競技に差し支えないよう利用のこと。  
ただし、器具の持ち込みは認めない。  
※旧末広中学校野球グラウンドは使用しないこと。

## 8. スパイクシューズについて

本競技場は全天候ウレタン舗装であるので、トラック競技のピンは9mm以下、走高跳は11mm以下の専用ピンを使用すること。

## 9. ユニフォームについて

ランニングパンツの下からはみ出るようなスパッツ等の着用は禁止する。ハーフパンツやスパッツだけを着用すること。

## 10. ナンバーカードについて

胸部と背部に折らずに確実につけること。ただし、跳躍競技においてはこの限りではない。  
※ナンバーカードの取り扱い（小樽後志陸上競技協会主催大会）は、1年間を通して、同じ番号を使用します。各自保管してください。

## 11. 個人情報

大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、その他競技運営および陸上競技に必要な連絡等に利用します。

## 12. 大会当日の記録掲示

については蜜を避けるために行わない。競技結果はアナウンス及び小樽後志陸上競技協会ホームページで公開します。

## 13. その他

- (1) 表彰は行わない。3位まで入賞した選手、学校については本部2階まで賞状を取りに来ること。  
(学校ごとに賞状をおいてあります)
- (2) 悪天候（雷など）の場合、日程変更や中止等もあり得る。
- (3) 今大会は、日本陸上競技連盟が公表したガイダンスに沿って、感染予防対策、競技運営を実施する。

ホームページアドレス：<https://osrk.jp/>